

今月の俳句

枯蔓となりて名前を失へり

神奈川県横浜市 大坪 正美

季題は「枯蔓」。さまざま蔓類のどれもが、冬になれば葉や実を落として、ただの「蔓」となる。よく見ればそれぞれの特徴が無くはないのであるが、総じてくるくる縮ねるばかりで、言はば似たりよつたりとも言える。

一句はその辺りの気分を「名前を失へり」と叙した。つまり、一つ一つの植物を并別する「名前」が意味をなさないということだ。やゝ大袈裟に表現した処が面白かった。「写生」には細かい違いに注目するものもあれば、ザックリと共通点を指摘するものもある。